

# 日本都市学会ニュース NO.29 2010. 3. 17

発行 日本都市学会 〒102-0076 東京都千代田区五番町 12 ドミール五番町 2-032

株式会社 防災都市計画研究所内 TEL : 03-3262-6376/FAX : 03-3263-7053

〈メール〉 info@toshigaku.org 〈ホームページ〉 http://www.toshigaku.org/

郵便振替 00130-0-512255 /三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店 普通口座 00389465

## 日本都市学会第56回(2009年度)大会が開催されました

日本都市学会第56回大会は、2009年10月24日(土)・25日(日)に、名古屋市中区の名古屋都市センター(〒460-0023 名古屋市中区金山町1-1-1)を会場に、「人口減少社会における都市の課題」をテーマに下記のスケジュールで開催されました。

大会は、24日午前に、10時から佐々木公明会長、竹内伝史中部都市学会会長の開会あいさつで始まり、10時10分から日本都市学会賞・日本都市学会特別賞授与式を行い、10時30分から海道清信名城大学都市情報学部教授による基調講演「人口減少社会における都市の課題」を行いました。

また、11時30分から12時まで日本都市学会総会を開催し、後述の事業計画等を承認いたしました。

午後は、1時から5時20分まで名古屋都市センターの3つの会場での研究発表Iをおこないました。

午後6時から会場を2階の「オーキッドガーデン」に移して懇親会が行われ、多くの会員や来賓が出席し、なごやかに懇親や情報交換の時間を過ごしました。

翌25日は、1つの会場で、9時30分から12時05分まで研究発表IIが行われ、熱心な討議が行われました。

参加者数は154名、懇親会は67名、また研究発表者数は47名でした。主催の中部都市学会、後援いただいた愛知県、名古屋市をはじめ関係者各位に、心からお礼申し上げます。

## 2009年度総会報告

総会は、2009年10月24日午前11時30分から、

竹内伝史中部都市学会会長を議長に選出して開催され、2008年度事業報告など以下の議案、報告のすべてが原案どおり可決・承認されました。

議案①2008年度事業報告

議案②2008年度決算

議案③2009年度事業計画

議案④2009年度予算

議案⑤会則の一部改正

議案⑥理事の承認

報告①2009年度日本都市学会賞(奥井記念賞)

報告②2009年度日本都市学会特別賞(学術部門)

報告③日本都市学会第57回大会

報告④日本都市学会賞・論文賞・特別賞の選考

報告⑤日本都市学会活性化・若手会員増加策

## 2008年度事業報告

(1) 日本都市学会理事会の開催

第1回 2008年6月29日(2007年度事業報告・決算案、2008年度事業計画・予算案、第54回大会、第55・56回大会予定、各事務局からの確認事項、WG中間説明、日本都市学会会長選挙その他)

第2回 2008年9月7日(2007年度事業報告・決算、2008年度事業計画・予算案、2008年度日本都市学会賞の決定、第55・56回大会予定、各事務局からの確認事項、WG答申検討、日本都市学会会長選挙その他)

第3回 2008年10月24日(第55回大会直前確認事項、総会議案の決定、第56回大会予定、各事務局からの確認事項、WG答申審議、日本都市学会会長選挙、次期事務局体制の検討その他)

(2) 日本都市学会常任理事会の開催

第1回 2009年3月22日(2008年度事業報告案・決算見込み、2009年度事業計画・予算案、第54回大会報告、第55・56回大会予定、各事務局からの確認事項、WG説明等)

(3) 日本都市学会賞(奥井記念賞)の選定

2008年4月30日 推薦締め切り

2008年9月7日 選考委員会開催、同日第2回理事会において決定

2008年10月25日 大会において授賞式

(4) 編集・学術委員会の開催

第1回 2008年12月23日 担当委員および査読者の決定等

(5) 日本都市学会第55回大会の開催

開催日時 2008年10月24・25・26日

開催学会 近畿都市学会

開催都市 神戸市(神戸国際会館)

開催テーマ「都市と観光ー日本におけるアーバンツーリズムの可能性」

(6) 日本都市学会総会の開催

2008年10月25日

(7) 日本都市学会年報の発行

VOL.41「交流人口を活かしたまちづくり」(2008年5月31日発行)

(8) 日本都市学会ニュース・大会プログラムの発行とホームページのメンテナンス

ニューズレターNO.26 2008年7月

第55回大会プログラム 2008年10月

ニューズレターNO.27 2009年2月

(9) 日本都市学会・学会活性化・若手会員増加策検討WG

第1回 2008年3月23日(2007年度常任理事会と同日開催)

第2回 2008年6月29日(2008年度第1回理事会と同日開催)、同日第1回理事会にて中間説明。

第3回 2008年9月7日(2008年度第2回理事会と同日開催)、同日第2回理事会に答申提出。

(10) 日本都市学会会長(2009~2010年度)選挙

## 2008年度決算

### <一般会計>

#### 収入の部 (円)

科目	予算	決算
学会会費(当該年度分)	1,970,000	2,020,600
学会会費(過年度分)	0	16,000
雑収入	580,000	601,733
前年度繰越金	737,390	737,390
計	3,287,390	3,375,723

#### 支出の部 (円)

科目	予算	決算
大会関係費	350,000	350,000
理事会・常任理事会費	700,000	812,130
編集・学術委員会関係費	200,000	228,810
年報関係費	1,200,000	923,765
(VOL.40)	(1,050,000)	(842,715)
(VOL.41)	(150,000)	(81,050)
学会賞関係費	100,000	50,367
事務局経費	400,000	249,736
備品費	50,000	0
雑費	20,000	0
名簿作成費用	0	0
予備費	267,390	0
計	3,287,390	2,614,808

収入ー支出 = 3,375,723 円 - 2,614,808 円 = 760,915 円(次年度繰越金)

### <一般会計正味資産>

#### 資産(2009年3月31日現在残高) (円)

三井住友銀行梅田支店	693,915
郵便口座	67,000
計	760,915

## 2009年度事業計画

(1) 日本都市学会理事会の開催

第1回 2009年6月21日(2008年度事業報告・決算案、2009年度事業計画・予算案、第56・57回大会予定、各事務局からの確認事項、WG答申検討その他)

第2回 2009年9月6日(2008年度事業報告・

決算、2009年度事業計画・予算案、2009年度日本都市学会賞の決定、第56・57回大会予定、各事務局からの確認事項、WG答申検討その他)

第3回 2009年10月23日(第56回大会直前確認事項、総会議案の決定、第57回大会予定、各事務局からの確認事項、WG答申検討その他)

(2) 日本都市学会常任理事会の開催

第1回 2010年3月(2009年度事業報告案・決算見込み、2010年度事業計画・予算案等、第56回大会報告、第57・58回大会予定、各事務局からの確認事項その他)

(3) 日本都市学会賞(奥井記念賞)の選定

2009年4月30日 推薦締め切り

2009年9月6日 選考委員会開催、同日第2回理事会において決定

2009年10月24日 大会において授賞式

(4) 編集・学術委員会の開催

第1回 2009年12月 担当委員および査読者の決定等

(5) 日本都市学会第56回大会の開催

開催日時 2009年10月24・25日

開催学会 中部都市学会

開催都市 名古屋市(名古屋都市センター)

開催テーマ「人口減少社会における都市の課題」

(6) 日本都市学会総会の開催

2009年10月24日

(7) 日本都市学会年報の発行

VOL.42「都市と観光」(2009年5月31日発行)

(8) 日本都市学会ニュース・大会プログラムの発行とホームページのメンテナンス

ニューズレターNO.27 2009年7月

第56回大会プログラム 2009年10月

ニューズレターNO.28 2010年1月

(9) 日本都市学会・学会活性化・若手会員増加策検討WG(詳細実行計画)

第4回、2008年度常任理事会と同日開催(2009年3月)

第5回、2009年度第1回理事会と同日開催(2009年6月)

その後、最終審議のためメール審議を行った。

(10) 事務局体制の移行

2008年度最終理事会・常任理事会から2009年度最初の理事会(6月理事会)までに、事務局引き継ぎを終了する。(本部)近畿→関東、(年報編集)中部→近畿、(論文審査)東北→中四国、(学会賞)九州→東北。

## 2009年度予算

### <一般会計>

収入の部		(円)	
科目	2008年度	2009年度	
学会会費(当該年度分)	2,020,600	1,970,000	
学会会費(過年度分)	16,000	0	
雑収入	601,733	580,000	
前年度繰越金	737,390	760,915	
計	3,375,723	3,310,915	

### 支出の部 (円)

科目	2008年度	2009年度	
大会関係費	350,000	350,000	
理事会・常任理事会費	812,130	800,000	
編集・学術委員会関係費	228,810	200,000	
年報関係費	923,765	1,150,000	
(VOL.40)	(842,715)	(1,050,000)	
(VOL.41)	(81,050)	(100,000)	
学会賞関係費	50,367	150,000	
事務局経費	249,736	400,000	
備品費	0	50,000	
支払利息	0	20,000	
雑費	0	0	
名簿作成費用	0	190,915	
予備費	760,915	0	
計	3,375,723	3,310,915	

## 2009年度日本都市学会賞(奥井賞)選考委員会報告

2009年度日本都市学会賞(奥井賞)選考委員会は、2009年9月6日(日)午後2時から東京駅八重洲口

近くの貸会議室において開催され、地域都市学会からの推薦応募でノミネートされた檜楨貢氏および石川雄一氏の著作（後述）を学会賞として選考しました。また、近畿都市学会の著作（後述）を特別賞として選考しました。

---

---

## 2009年度第2回理事会報告

---

---

第2回理事会は、2009年9月6日（日）午後2時から、東京駅八重洲口近くの貸会議室において開催され、佐々木会長はじめ理事、常任理事が出席し、①2008年度事業報告・決算/②2009年度事業計画・予算/③2009年度学会賞選考委員会の結果について/④第56回大会準備についての確認/⑤論文審査について/⑥年報編集について/⑦日本都市学会活性化・若手会員増加策検討WG答申の実施に向けて等の議題について審議がなされました。

議題①②については、本部案が修正・確認の上最終承認されました。

議題③については、選考委員会より推薦のあった学会賞候補2件を承認・決定しました。

議題④については、大会事務局（中部）より大会プログラムと大会テーマについて報告があり了承されました。

議題⑤については、論文審査担当事務局から論文審査のスケジュール案について報告があり了承されました。

議題⑥については、年報担当事務局から論文投稿要領について説明があり、査読の有無による違いが一般会員からわかりにくいとの意見が出され、わかりやすい表現に工夫して年報事務を担当する近畿及び日本都市学会のホームページ、ニュースレター等で広報してゆくこととなった。

議題⑦については若手論文賞、まちづくり賞などを設けるための規程を作成中であるとの報告があった。

---

---

## 2009年度第3回理事会報告

---

---

第3回理事会は、2009年10月23日（金）午後6

時から8時まで、名古屋都市センターで開催され、佐々木会長はじめ理事、常任理事が出席し、①総会提出議案について/②第56回大会準備についての当日最終確認/③第57回大会準備について/④論文審査予定について/⑤年報発行予定について/⑥2009年度学会賞及び特別賞について/⑦日本都市学会活性化・若手会員増加策実施について/⑧2010年度学会賞選考委員会の予定/⑨その他の議題について審議がなされました。

議題①については、案が修正・確認の上最終承認されました。その他につきましても担当事務局の案が了承されました。

議題②については、大会当日の最終確認が行われました。

議題③については、大会事務局（関東）よりテーマなどが報告され了承されました。

議題④⑤については、論文審査担当事務局・年報担当事務局から論文審査のスケジュール案について報告があり了承されました。会員に対して論文投稿要項、投稿者カードなどの周知を図っていくことが確認されました。

議題⑦については、若手論文賞、まちづくり賞などの設置に伴う会則、内規の改正案が報告され、案が修正・確認の上了承されました。

議題⑧については、学会賞事務局より学会賞の推薦方法や日程等について報告があり了承されました。

---

---

## 会則の一部改正

---

---

（会則の修正 第2章第5条） ※修正箇所は下線部

**第5条** 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 都市に関する研究調査
- (2) 都市研究者の連絡および協力の促進
- (3) 各地域都市学会との連絡調整および関連学・協会との連絡提携
- (4) 研究会および大会の開催
- (5) 機関誌その他刊行物の刊行
- (6) 都市問題に関わる講演会および講座等の開催
- (7) 日本都市学会賞（奥井記念賞）の選定

(8) 日本都市学会論文賞の選定

(9) 日本都市学会特別賞（学術共同研究賞・まちづくり賞）の選定

(10) 都市研究に対する奨励および援助

(11) 都市の発展に関する助言および勧告

(12) 都市に関する各種研究団体との連絡提

付則

7 本会則の改正(第5条)は2009年10月24日から施行する。

(※) 関連する内規は順次ホームページ等で公表します。

---

## **2009年度日本都市学会賞（奥井賞）・特別賞決まる**

---

2009年度日本都市学会賞（奥井記念賞）は、2009年度第2回理事会において檜楨貢氏および石川雄一氏に決まりました。

また、2009年度日本都市学会特別賞も同様に、近畿都市学会に決まりました。

授賞式は2009年10月24日、日本都市学会大会の場でとりおこなわれ、賞状と記念品が手渡され、その後お礼の挨拶がありました。

### **○日本都市学会賞（奥井記念賞）**

（受賞図書）「檜楨貢著『市民的地域社会の展開』日本経済評論社、2008年10月25日発行、価格3,570円（税込み）」。檜楨貢（ひまきみつぐ）氏、1949年長崎県生まれ、弘前大学大学院地域社会研究科教授、関東都市学会所属。

（推薦理由）従来の地域政策は、行政システムの枠組みに依存した政策が大半であり、地域資源と市民活動を基礎においた取り組みが不十分であったという認識のもとに、市民活動とそれを含む近隣自治を起点とした市民的地域政策の考え方およびその仕組みについて論じた著書である。まず、コミュニティ政策に関する論点を整理し、その歴史的展開についても言及しながら、大都市・地方都市・過疎山村地域の3つの事例地域をとりあげ、そこでの市民・住民運動と自治体の政策支援の動きを実証的に分析し、それらをふまえて、地域政策のあり方とその形成・

推進機能としてのコミュニティ支援機能について検討を加えたものである。

本書は、市民の立場からの地域づくりの可能性を追究したものであり、理論研究や現状把握だけではなく、事例研究をふまえた問題解決的視点をもつものであり、単に研究者のみならず、実務家に対しても有意義な内容を有する。また、都市論の中でも重要なテーマであるコミュニティの再生に関しても、著者の研究成果を集大成しつつ、『新しい近隣』や「市民的地域社会」などの概念化を試み、ともすれば抽象的になりがちな論点について、歴史的経緯をふまえながら、分かりやすく整理している点も評価される。さらに、「まちづくり」に関連したこれまでの著書はその実例をもとにした実践志向のものが大半である中において、本書は「まちづくり」を体系的・理論的に捉えようとした点も高く評価される。

よって、本書は日本都市学会賞（奥井記念賞）受賞に値すると判断された。

（受賞図書）「石川雄一著『郊外からみた都市圏空間 郊外化・多核化のゆくえ』海青社、2008年10月15日発行、価格3,570円（税込み）」。石川雄一（いしかわゆういち）氏、1958年大阪府生まれ、長崎県立大学経済学部教授、九州都市学会所属。

（推薦理由）郊外地域からの視点にたつて、日本の大都市圏・都市圏の空間構造の変容を解明しようとした著書である。従来の都市圏研究は中心市・郊外地域間の比較の視点にたつて中心市の人口や機能の郊外への分散に着目し、郊外地域を広く同質的地域とみなして論じたものが大半であったのに対して、本書は郊外地域の視点にたつて郊外地域において生じている空間構造変容の地域的差異について論じたものである。

特に、主に京阪神大都市圏の事例を中心に、郊外化・超郊外化・多核化・ジェンダーなどの多様な観点から、その空間構造の変容に関して、多彩なデータや地図を用いて、詳細で手堅い実証的分析を試みている点は高く評価される。また、郊外地域を人々の行動ベースにタイプ分けを行った点に関しても大

きな研究の意義を認めることができる。さらに、アメリカ合衆国の事例との比較をもとに、日本の都市圏構造の多核心化に関するモデルを提示した点も本書の優れた点である。

よって、本書は日本都市学会賞(奥井記念賞)受賞に値すると判断された。

### ○日本都市学会特別賞

(受賞図書)「近畿都市学会編『21世紀の都市像—地域を活かすまちづくり—』古今書院、2008年10月10日発行、価格2,730円(税込み)」。

(推薦理由)この著作は、近畿都市学会創立50周年記念事業であり、学会の公式事業として、学会の専門家22名を動員し、文字通り総力をあげてまとめたものであり、学会の集团的著作としてふさわしい。

内容的には、いまの都市学においてもっともホットな、21世紀の都市の展望についてとりあつかい、経済学・計画学・地理学・社会学・行政学など多分野からのアプローチを都市論、まちづくり、構造などの視点から総合し、学術的業績としても価値は高い。執筆者は大学、研究機関研究者、行政関係者、NPO指導者など多岐にわたっており、学際的な協働による達成という点でも大いに評価できる。

よって2007年10月26日改定の会則第5条の規定に基づき、近畿都市学会による本書の集团的業績は日本都市学会特別賞(学術部門)受賞に値すると判断された。

---

### **2010年度日本都市学会賞(奥井賞)・論文賞・特別賞を募集します**

---

2010年度日本都市学会賞(奥井記念賞)・論文賞・特別賞(学術共同研究賞、まちづくり賞)を募集します。

学会賞は、各地域都市学会で2010年4月30日までに推薦著作をとりまとめ、東北都市学会内の学会賞担当事務局までお送り下さい。

対象は、日本都市学会会員の著作(共著を含む)で、2008年1月1日から2009年12月31日の2年間に刊行されたもの。各地域都市学会で3点以内に

絞って推薦された著書から、9月上旬開催予定の選考委員会で2点以内の候補を選考し、その報告にもとづき、9月下旬の理事会で決定、大会で賞状および記念品が贈呈されます。

また、学会賞の詳細、並びに、論文賞・特別賞につきましては、添付の内規、及び、学会ホームページをご覧ください。

---

### **第57回大会は関東(高崎市)で開催予定！ テーマは「横断国土軸と都市再生」(案)！**

---

第57回大会(2010年度)は、関東都市学会が担当し、2010年10月23日(土)・24日(日)に、群馬県高崎市で「横断国土軸と都市再生」(案)をテーマに開催する予定です。ご参加ください。

また、第58回大会(2011年度)は、東北都市学会が担当する予定です。

詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。

---

### **2009年度日本都市学会役員(2009年度総会時)**

---

【会長】佐々木公明(東北)

【支部会長理事】日野正輝(東北)、浦野正樹(関東)、竹内伝史(中部)、實清隆(近畿)、藤目節夫(中四国)、北村速雄(九州)

【支部選出理事】森傑(北海道)、吉野英岐(東北)、井上繁(関東)、林上(中部)、高山正樹(近畿)、久隆弘(近畿)、豊田哲也(中四国)、堂前亮平(九州)

【常任理事】越沢明(北海道)、松本行真(東北)、吉川忠寛(関東)、熊田俊郎(関東)、戸所隆(関東)、高田弘子(中部)、小長谷一之(近畿)、山崎健(近畿)、由井義通(中四国)、堤昌文(九州)

【監事】井澤知且(中部)、佐藤直由(東北)

---

### **地域都市学会事務局一覧**

---

【北海道都市地域学会(連絡先)】

〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1

札幌大学女子短期大学部経営学科小山研究室内  
TEL&FAX 011-852-9342  
<e-mail> koyama-s@sapporo-u. ac. jp

#### 【東北都市学会】

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30  
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報  
学科松本行真先生気付  
TEL 0246-46-0850  
<e-mail> matsumoto. m@fukushima-nct. ac. jp

#### 【関東都市学会】

〒357-8555 飯能市阿須 698  
駿河台大学法学部熊田俊郎研究室内  
TEL 042-974-7001/FAX 042-972-1139  
<e-mail> tkumada@surugadai. ac. jp

#### 【中部都市学会】

〒460-0005 名古屋市中区栄 4-12-26  
栄CDビル5 A 都市調査室内  
TEL 052-242-3507/FAX 052-251-5058  
<e-mail> chubu-toshigakkai@kusanone. jp

#### 【近畿都市学会】

〒631-8502 奈良市山陵町 1500  
奈良大学文学部地理学教室（酒井研究室）内  
TEL&FAX 0742-41-9539  
<e-mail> info@kintoshi. org

#### 【中四国都市学会】

〒739-8524 東広島市鏡山 1-1-1  
広島大学大学院教育学研究科社会認識教教育学  
研究室内 TEL&FAX 0824-24-6804  
<e-mail> yyui@hiroshima-u. ac. jp

#### 【九州都市学会】

〒800-0394 福岡県京都市郡苅田町新津 1-11  
西日本工業大学環境都市デザイン工学科内  
TEL 0930-23-1491/FAX 0930-24-7900  
<e-mail> hayakawa@nishitech. ac. jp

TEL 03-3262-6376/FAX 03-3263-7053

<e-mail> info@toshigaku. org

担当常任理事(事務局長): 吉川忠寛

担当常任理事: 熊田俊郎

#### 【論文審査(編集学術委員会)担当事務局】

〒739-8524 広島県東広島市鏡山 1-1-1 広島大  
学大学院教育学研究科社会認識教育研究室内  
TEL 0824-24-6804/FAX 0824-24-6804  
<e-mail> yyui@hiroshima-u. ac. jp  
担当常任理事: 由井義通

#### 【年報担当事務局】

##### 年報(編集)

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前  
第2ビル6F 大阪市立大学大学院創造都市研  
究科都市政策専攻 小長谷一之 宛  
担当常任理事: 小長谷一之  
<e-mail> nenpol@kintoshi. org

##### 年報(刊行)

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11  
神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境  
学専攻山崎研究室内  
TEL/FAX 078-803-7778  
<e-mail> nenpo2@kintoshi. org  
担当常任理事: 山崎健

#### 【学会賞担当事務局】

〒981-8551 宮城県仙台市青葉区国見 6-45-1 東  
北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科佐藤  
直由研究室  
TEL 022-239-3987  
<e-mail> snao@hss. tbgu. ac. jp  
担当(日本都市学会監事): 佐藤直由

---

## 日本都市学会分担事務局一覧(総会時)

---

#### 【日本都市学会・本部事務局】

〒102-0076 東京都千代田区五番町 12 ドミール  
五番町 2-032 株式会社 防災都市計画研究所内